

郡と云あり、いにしへはさも云しにや、

〔鶴岡八幡宮藏古文書武藏國入東郡横沼郷事

右以當郷寄進大慈寺内釋迦堂之狀如件、

正嘉元年十月二十八日

沙汰道崇

〔北條分限帳郡村略考〕一帳面の内、武州の郡村に、入西郡としるすは、

考るに、武州の内多摩郡の内西の方高麗郡比企郡等のち、ぶ根の村々なり、今も入西筋と云、多摩郡をわけて、多西多東など、云事、俚語に残れり、

高麗郡

〔武藏濱路五〕高麗郡 東入間、西多摩、南多摩、北秩父界ニ至ル、

本宿梅原 栗坪 内栗原 一體高麗郡なれども、わけて此邊を高麗と呼ぶ、

〔新編武藏風土記稿高麗郡 一百七十六〕總説

高麗郡ハ、國ノ中央ニアリ、江戸ヨリ西北十餘里ナリ、和名抄ニ、高麗ヲ訓ジテ古末ト註セリ、○中

扱本郡ハ、往古多摩郡ヨリ通ジテ、入間郡及ビ高麗郡ニ聯縣トシテ、茫々タル原野ナリシニ、是ヲ

スベテ武藏野ト稱セシナリ、スデニ、元弘年中、新田左中將武藏野ノ合戰アリシガド、ネフハ、即チ

コノ郡ニ亘リテノコト、見ユ、今ノ篠井村ノアタリ、壘壁ノ遺蹤アルモノ、頃構ヘシモノト見

ユ、又栢原村ト廣瀬村界ノ東邊、入間川ヲ八町シ渡シト云傳フ、是ゾ堤ナドモテ流ヲサ、エシ廣

濶ナル所ト思ハル、ナリ、又ソノアタリヲ霞ケ關トテ、當國ニ名ダ、ル名所ハ此所ナリト云、後

世分レテ、入間野トナリ、或ハ入間ノ里ト云シナラシ、又高麗原ト云ルハ、今ノ新堀村邊ナリ、南北

十三四町、東ハ的場村マデ三里半許、渺々タル平原ナリシト云、○中按ズルニ、靈龜ノ前此郡ヲ置

キル時ハ、草昧茫々タル間地ナルガ、恐クハ本郡モト入間郡ク分郡ト思ハル、○中既ニ前ニ辨

ズルゴトク、武藏野ト云、入間野ト云、高麗原ト云、コレスベテ一圓ノ武藏野ニシテ、杳渺タル曠野